

區分	明治三十八年度	同三十九年度	同四十年年度	同四十一年度	同四十二年年度	同四十三年年度	同四十四年度	大正元年度	大正二年度	
醬油釀造用	(鹽) 一五、五三〇、〇七六 斤 (交付金) 二一〇、六六六 円	二二、一〇八、五二一 斤 一五八、六八四 円	二二、一〇、一九 斤 一、五七三 円							
溜留製造原料味噌	(味噌) 九、三三八 (交付金) 一五	一一、七〇、一九 斤 一九六 円								
輸出鹽藏魚類	(鹽) 〃 (魚類) 〃 (交付金) 〃	〃	〃	一九二、六〇三 斤 一、二四七 円	二〇七、四六六 斤 一、三八三 円	九、一五六 斤 五四 円	一六七、八一〇 斤 二、二六五 円	五八、九五〇 斤 七九六 円	一六五、〇四五 斤 二、一六八 円	
移出鹽藏魚類	(鹽) 〃 (交付金) 〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
輸出醬油	(醬油) 〃 (交付金) 〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
移出醬油	(醬油) 〃 (交付金) 〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
合計	(魚類) 一〇、七六〇、六三三 (鹽) 八二、二八八 (味噌) 九、三三八 (交付金) 一五 (醬油) 〃 (交付金) 〃 (交付金計) 三九、八〇三	(魚類) 五五、三二、七三五 (鹽) 四六、八八〇 (味噌) 一七、〇一九 (交付金) 一九六 (醬油) 〃 (交付金) 〃 (交付金計) 七四二、八三三	(魚類) 五五、九〇三、二六六 (鹽) 三三九、八六六 (味噌) 〃 (交付金) 〃 (醬油) 〃 (交付金) 〃 (交付金計) 五四七、九六六	(魚類) 三六、三三五、四五五 (鹽) 一九一、五九七 (味噌) 〃 (交付金) 〃 (醬油) 〃 (交付金) 〃 (交付金計) 八二〇、三〇一	(魚類) 三〇、四〇、五〇六 (鹽) 一八八、六五八 (味噌) 〃 (交付金) 〃 (醬油) 〃 (交付金) 〃 (交付金計) 一、八、九六六	(魚類) 二、七三三、〇九〇 (鹽) 一七、二三〇 (味噌) 〃 (交付金) 〃 (醬油) 〃 (交付金) 〃 (交付金計) 八六六、六五八	(魚類) 二、二〇九、五八八 (鹽) 一、四五六 (味噌) 〃 (交付金) 〃 (醬油) 〃 (交付金) 〃 (交付金計) 二、二〇九、五八八	(魚類) 二、二〇九、五八八 (鹽) 一、四五六 (味噌) 〃 (交付金) 〃 (醬油) 〃 (交付金) 〃 (交付金計) 二、二〇九、五八八	(魚類) 一、五八〇、四八三 (鹽) 一、〇〇二 (味噌) 〃 (交付金) 〃 (醬油) 〃 (交付金) 〃 (交付金計) 一、五八〇、四八三	(魚類) 九七、〇二四、〇八八 (鹽) 一、一五四、四七九 (味噌) 〃 (交付金) 〃 (醬油) 〃 (交付金) 〃 (交付金計) 一、二七四、九四八

第二節 追徴

交付金ノ下付ハ一般定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ特別用途ニ使用シタル場合ニ於テ一般定價ト特別定價トノ差額ニ相當スル金額ヲ交付スルモノナルコトハ前節述フル所ノ如ク追徴金ハ之

- ニ反シ特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ其ノ用途ニ使用セサル場合其ノ差額ヲ追徴スルモノ
即チ是レナリ一般定價鹽ニ在リテハ原價ニ每百斤ニ付一圓四十八錢ヲ加ヘタル價格ヲ以テ賣渡
スモ特別定價ニ在リテハ僅ニ百斤ニ付十八錢ヲ加ヘタル價格ヲ以テ賣渡其ノ後外國輸出鹽ニ在
リテハ原價ヲ以テ賣渡ス)スモノナルカ故ニ若シ特別用途トシテ賣渡シタル鹽ニシテ其ノ用途ニ
使用セラレサルトキハ法ノ精神ニ反シ政府ニ於テ專賣收益ヲ全フスルヲ得サルヲ以テ之ニ對シ
テハ少クトモ其ノ差額ニ相當スル金額ヲ徵收スルコトト爲シタリ其ノ場合左ノ如シ
- 一 特別定價ヲ以テ賣渡シタル鹽ヲ外國輸出及規則第一條ノ用途以外(一般用途)ニ使用スルコ
トヲ許可スルトキハ賣渡當時ノ數量ニ依リ特別定價ト一般定價トノ差額ヲ追徴ス
 - 二 外國ニ輸出スル爲特別定價ヲ以テ賣渡シタル鹽ノ價格ハ特別定價鹽中最モ低廉ナルカ故
ニ之ヲ規則第一條ノ特別用途ニ使用スルコトヲ許可スルトキハ賣渡當時ノ數量ニ依リ其
ノ各特別定價ノ差額ヲ追徴ス
 - 三 醬油釀造ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ以テ溜醬油ヲ釀造シタル場合
ニ於テ稅務署カ醬油ノ査定ヲ爲スニ當リ殘存スル味噌アルトキハ賣渡鹽務局ハ殘存味噌
百斤ニ付金十一錢五厘ノ割合ノ金額ヲ溜醬油釀造者ヨリ追徴ス
 - 四 魚類鹽藏ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者鹽使用濟證明書ヲ賣渡鹽務
局ニ提出シタル場合ニ於テ其ノ使用シタル鹽ノ數量カ賣渡シタル鹽ノ數量ニ對シ不足シ
タルコトヲ認メタルトキハ其ノ不足額ニ對シ百斤ニ付金一圓三十錢ノ割合ノ金額ヲ賣渡
請求者ヨリ追徴ス
 - 五 特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ特別定價ト一般定
價トノ差額及其ノ十分ノ一ニ相當スル金額ヲ追徴ス

イ 外國ニ輸出スル爲又ハ醬油釀造若ハ魚類鹽藏用ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ許可

ヲ受ケスシテ他ニ讓渡シタルトキ

ロ 許可ヲ受ケスシテ賣渡請求書ニ記載シタル用途ヲ變更シタルトキ

ハ 輸出申告書ニ記載シタル寄港地以外ノ内國沿岸ニ寄港シタルトキ但シ海難其ノ他已ム

ヲ得サル事故アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

ニ 外國ニ輸出シタル鹽ニ對シ其ノ輸出又ハ陸揚ヲ證明スヘキ書類ヲ醬油釀造用鹽又ハ魚類鹽藏用鹽ニ對シ鹽使用濟證明書ヲ一定ノ期間内ニ提出セサルトキ

外國ニ輸出スル爲又ハ醬油釀造若ハ魚類鹽藏用ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケ

タル者其ノ目的ニ供シタル鹽ノ數量カ賣渡シタル鹽ノ數量ニ對シ不足シタル場合ニ於テ

正當ノ事由ナシト認メタルトキハ承認ヲ受ケタル未使用鹽ノ數量ヲ除キ其ノ不足額ニ對

シ前項ノ金額ヲ追徴スルコトヲ得ルモノトス

勅令第五百五十七號(再錄)(明治三十八年五月八日)

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則(抄錄)

第一條 鹽專賣法第十九條第一項第二號ニ依リ特別定價ヲ以テ賣渡スコトヲ得ル鹽ハ左ノ用途ニ使用スルモノニ限ル

一 醬油釀造用但シ普通醬油ノ香油及自家用醬油釀造ニ使用スルモノヲ除ク

二 曹達、硫酸曹達、晒粉、石鹼製造用

三 肥料用

四 獸皮保存用

五 礦業用

六 鮭、鱒、鱈、臘魚鹽藏用

第五條(抄錄) 醬油釀造又ハ第一條第六號ノ用途ニ使用スル鹽ニ付テハ賣渡請求者ハ百斤ニ付金一圓三十錢ノ割合ニ依リ擔保ヲ提供スヘシ

第九條 特別定價ヲ以テ賣渡シタル鹽ヲ外國輸出及第一條ノ用途以外ニ使用スルコトヲ許可スルトキハ鹽務局ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ特別定價ト一般定

價トノ差額ヲ追徴ス

外國ニ輸出スル爲特別定價ヲ以テ賣渡シタル鹽ヲ第一條ノ用途ニ使用スルコトヲ許可スルトキハ鹽務局ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ其ノ各特別定價ノ差額ヲ追徴ス

第十二條 第一條第一號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ其ノ用途ニ使用セムトスルトキハ其ノ數量使用ノ場所及日時ヲ定メ使用地所轄稅務署ニ使用ノ承認ヲ申請シ使用濟證明書ヲ交付ヲ受クヘシ

前項ノ承認ヲ受ケタル者溜醬油ヲ釀造シタル場合ニ於テ所轄稅務署ハ醬油ノ査定ヲ爲スニ當リ殘存スル味噌アルトキハ其ノ數量ヲ査定スヘシ

第十五條 第一條第一號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者ハ賣渡ノ日ヨリ一箇年以内ニ稅務署ノ交付シタル鹽使用濟證明書ヲ賣渡鹽務局ニ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ賣渡ノ日ヨリ一箇年以内ニ鹽全部ノ使用濟證明書ヲ提出スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ具シ未使用鹽ニ付稅務署ノ承認ヲ申請シ其ノ證明書ヲ交付ヲ受ケ之ヲ賣渡鹽務局ニ提出スヘシ此ノ場合ニ於テハ承認ヲ受ケタル日ヨリ一箇年以内ニ鹽使用濟證明書ヲ提出スヘシ

第一條第六號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者ハ賣渡ノ日ヨリ一箇年以内ニ鹽務局ノ交付シタル鹽使用濟證明書ヲ賣渡鹽務局ニ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ使用シタル鹽ノ數量カ賣渡シタル鹽ノ數量ニ對シ不足シタルコトヲ認メタルトキハ賣渡鹽務局ハ其ノ不足額ニ對シ百斤ニ付金一圓三十錢ノ割合ノ金額ヲ賣渡請求者ヨリ追徴ス

第十六條 特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ特別定價ト一般定價トノ差額及其ノ十分ノ一ニ相當スル金額ヲ追徴ス

一 外國ニ輸出スル爲又ハ第一條第一號若ハ第六號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ他ニ讓渡シタルトキ

二 許可ヲ受ケスシテ賣渡請求書ニ記載シタル用途ヲ變更シタルトキ

三 第十一條輸出申告書ニ記載シタル寄港地以外ノ內國沿岸ニ寄港シタルトキ但シ海難其ノ他已ムラ得サル事故アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

四 第十四條又ハ第十五條ニ依リ提出スヘキ書類ヲ提出セザルトキ

外國ニ輸出スル爲又ハ第一條第一號若ハ第六號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル者ノ其ノ目的ニ供シタル鹽ノ數量カ賣渡シタル鹽ノ數量ニ對シ不足シタル場合ニ於テ正當ノ事由ナシト認メタルトキハ鹽務局ハ其ノ不足額ニ對シ前項ノ金額ヲ追徴スルコトヲ得但シ第十五條第二項ニ依リ承認ヲ受ケタル未使用鹽ハ其ノ不足額ニ算入セス

第十七條 第九條第十二條第十五條及前條ノ追徴金ニ關シテハ國稅徵收法及國稅徵收法施行規則ノ規定ヲ準用ス

第十八條 第五條ニ依リ提供シタル擔保ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ解除ス

一 其ノ鹽ヲ以テ釀造シタル醬油全部ニ付査定ヲ受ケ殘存味噌ナキトキ又ハ殘存味噌ニ對スル追徴金ヲ納付シタルトキ

二 其ノ鹽ノ全部ヲ漁獲物鹽藏用ニ供シタルコトヲ證明セラレタルトキ又ハ其ノ不足額ニ對シ追徴金ヲ納付シタルトキ

右追徴金額ハ其ノ用途ニ應シ必スシモ同一ナラサルモ其ノ賣渡價格ノ差額ニ外ナラス然レトモ許可ヲ受ケスシテ濫ニ用途ヲ變更シ又ハ規定義務ニ違反スル等ノモノニ在リテハ差額ノ追徴ノミヲ以テ法ノ精神ヲ全フスル能ハサルニ依リ此等不正不當ノ行爲ヲ豫防スル爲差額ノ外尙其ノ一割ニ相當スル金額ヲ増徴スルコトト爲セリ

第十章 交付金下付及追徴

溜醬油釀造又ハ漁獲物鹽藏用トシテ特別定價ヲ以テ賣渡ス鹽ニ在リテハ他ノ特別用途ノ如ク變性ヲ施ササルヲ以テ容易ニ用途ヲ變更シ易キヲ以テ擔保ヲ提供スルニ非サレハ賣渡ササルコトトセリ從テ其ノ賣渡ヲ受ケタル鹽ノ全部ヲ其ノ用途ニ使用シタルトキ若ハ殘餘ニ對スル追徵金ヲ納付シタルトキニ非サレハ其ノ擔保ヲ解除スル能ハサルモノトス

追徵ハ國稅徵收法及同法施行規則ヲ準用シ同規則ニ於テ稅務署長ニ屬スル職務ヲ行フヘキ官吏ハ鹽務局長又ハ鹽務局出張所長ト定メタリ

大藏省令第三十二號(再錄) (明治三十八年五月九日)

明治三十八年勅令第五百十七號專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第十七條ノ施行ニ關シテハ國稅徵收法施行細則ノ規定ヲ準用ス

國稅徵收法施行細則ニ依リ稅務署長ニ屬スル職務ヲ行フヘキ官吏ハ鹽務局長又ハ鹽務局出張所長トス

附則

本令ハ明治三十八年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

斯クノ如ク賣渡代金ノ追徵ハ國稅徵收法ノ定ムル所ニ依リ徵收スルコトト爲セル結果一般國稅ノ徵收ト同シク其ノ追徵金ハ他ノ債權ニ優先シテ強制徵收ヲ爲シ得ヘキモノトス

明治三十八年十月專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ヲ改正シ十月十日ヨリ之ヲ施行シタリ

追徵ニ關係アル改正要點ヲ舉クレハ左ノ如シ

- 一 農工業保護ノ爲特別定價鹽中ニ「鹽酸」及「選種」ヲ加ヘタルコト
- 二 殘存味増ニ對スル追徵金ハ鹽ノ含量ヲ調査シ百斤十一錢五厘ヲ十七錢ニ改メタルコト
- 三 漁獲物鹽藏ニ使用シタル鹽カ賣渡シタル鹽ノ數量ニ對シ不足シタル場合ニ於テハ未使用鹽ノ證明書ヲ提出セシムルコトトシ其ノ追徵ハ其ノ不足カ正當ノ事由ナシト認メタルトキニ止メタルコト

勅令第二百十四號(再錄) (明治三十八年十月七日)

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス(抄錄)

第一條第二號中「曹達」ノ上ニ「鹽酸」ヲ第三號中「肥料」ノ下ニ「選種」ヲ加フ

第五條第一項中「溜醬油釀造又ハ」ヲ削ル

第十二條第三項中「金十一錢五厘」ヲ「金十七錢」ニ改ム

第十五條（追徵規定削除）

第十七條中「第十五條」ヲ削ル

第十八條 第五條ニ依リ提出シタル擔保ハ其ノ鹽ノ全部ヲ漁獲物鹽藏用ニ供シタルコトヲ證明セラレタルトキ又ハ其ノ不足額ニ對スル追徵金ヲ納付シタルトキ之ヲ解除ス

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ニ依リ追徵金ヲ徵スヘキ味噌及交付金ヲ下付スヘキ味噌ハ生引溜釀造ヨリ生セルモノニ限り、ニ一ラ溜素引溜ノ釀造ヨリ生スル粕ノ如キハ普通ニ所謂味噌ト認メ難キニ依リ醬油粕同様之ニ對シ追徵金ヲ徵セサルモ生引溜ノ殘存味噌ハ其ノ用途ノ如何ニ拘ラス總テ追徵金ヲ徵收スヘキコトニ明治三十八年九月及同年十月鹽務局長及關係稅務監督局長へ通牒シタリ

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第十六條第一項第四號ハ第九條ノ場合ヲ除キ特別定價鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者カ任意ニ規則第十四條又ハ第十五條ノ書類ヲ提出セサル場合ニ於ケル追徵規定ナルモ災害ニ因リ特別定價賣渡ヲ受ケタル鹽全部ヲ消失シタル爲右等書類ヲ提出スルコト不能ニ至レル場合ニ於テ事情已ムヲ得サルモノト認メタルトキハ規則第十六條ノ追徵金ヲ徵セサルコト（一部消失ノ場合ニ於テハ規則第十六條第二項ノ正當ノ事由アリト認メ其ノ部分ニ限り追徵金ヲ徵收セス）ニ省議決定ノ上明治三十八年十一月左ノ如ク通牒シタリ

大藏省主稅局長通牒第四七三五號（明治三十八年十一月十一日）

特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ノ全部又ハ一部ヲ災害ニ因リ消失シタルモノアル場合ニ鹽務局ニ於テ罹災ノ事實ニ關シ確實ノ心證ヲ得タルトキハ其ノ部分ニ限り專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第十六條ノ追徵金ヲ徵セサルコトニ省議決定相成候條右ニ據リ御取扱相成度此段及通牒候也

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第一條第一號但書普通醬油ノ番醬油トハ醬油造石稅ヲ課セサル番醬油ヲ指稱スルモノニシテ他日造石稅ヲ課セラルヘキ醬油ノ原料ニ供スヘキ番醬油ハ

醬油釀造用トシ特別定價鹽ヲ賣渡スト同時ニ若シ一般定價鹽ヲ使用レタルモノアルトキハ規則第十九條第三號ニ依リ交付金下付ノ請求ヲナスヲ得ルコトハ明治三十八年十二月鹽務局長ニ通牒シタリ

外國ニ輸出スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル甲者事情アリテ之ヲ乙者ニ賣渡シ乙者之ヲ輸出セムトスル場合ニ在リテハ特別定價ト一般定價トノ差額ニ相當スル金額ヲ甲者ヨリ追徴シ乙者ニ對シ交付金ヲ下付スルノ手續ニ依ルヲ至當トスルモ斯クテハ其ノ手續徒ニ煩累ニ涉ルヲ以テ取締上不都合ナシト認メタル場合ハ專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第八條第一項ノ用途變更許可ノ出願ニ準シ其ノ輸出ヲ承繼スヘキコトヲ明記シタル兩者連署ノ書面ヲ差出サシメ許可ノ手續ヲ爲スト同時ニ其ノ旨ヲ輸出港稅關ニ通知シ甲者ニ對シ追徴ヲ爲ササルト共ニ乙者ニ對シ交付金ヲ下付セサルコトニ取扱フモ差支ナキ旨明治三十八年十二月主稅局長通牒ヲ發シタリ

明治三十九年三月專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ヲ改正シ醬油稅則施行ノ日ヨリ施行シタリ其ノ改正ノ要點ヲ舉クレハ左ノ如シ

- 一 醬油釀造用ヲ特別用途ヨリ削除シタルコト
- 二 鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル鹽ニ付テモ外國輸出鹽ニ關スル規定ヲ準用スルコト

勅令第三十六號(再錄) (明治三十九年三月二十九日)

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス(抄錄)

第一條第一號 削除

第十二條 削除

第十五條中「第一號又ハ」及「稅務署又ハ」ヲ削ル

第十七條中「第十二條」ヲ削ル

第二十八條 鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル鹽ノ特別定價賣渡及交付金下付ニ付テハ本令中外國輸出鹽ニ關スル規定ヲ準用ス(但書省略)

而シテ其ノ改正規定施行前ニ於テ醬油釀造ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者ニ對シテハ改正規定施行後ト雖仍舊規定ヲ適用スルコトト爲シタリ

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第十六條第一項第二號ニ該當シ二人以上ノ間ニ特別定價鹽カ轉賣セラレタル場合ニ於テハ政府ヨリ直接ニ特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者ヨリ第十六條ノ追徵金ヲ徵收スヘキコトニ明治三十九年六月通牒シタリ

特別定價鹽ノ用途變更ノ場合ニ於テ追徵金ヲ徵スルハ畢竟用途變更ノ爲國庫ノ損失ヲ避クルノ趣意ニ外ナラサルニ依リ特別定價鹽ノ一部ヲ用途變更スル場合ニ於テ其ノ缺減量中既使用鹽ノ部分ニ對スル缺減トシテ相當ノ理由アリト認メ得ヘキモノハ別ニ追徵金ヲ徵セサルモ其ノ他ノ減量ニ對シテハ追徵金ヲ徵收スヘキ旨左ノ如ク通牒シタリ

大藏省主稅局長通牒第四四六號（明治三十九年十二月二十七日）

特別定價ヲ以テ賣渡シタル鹽ノ一部ヲ豫定用途ニ供シ殘存鹽ノ用途變更ヲ許可シタル場合ニ於テ其ノ各數量ハ賣渡數量ニ對シ不足セルトキハ其ノ缺減鹽ニ對スル追徵金徵收方ニ關シ各局ノ取扱方區々ニ涉リ居ルヤニ相聞ヘ候處右ハ其ノ缺減量中既使用鹽ノ部分ニ對スル缺減トシテ相當ノ理由アリト認メ得ヘキモノニ限り既使用鹽トシテ別ニ追徵金ヲ徵セサルモ其他ノ減量ハ未使用現在鹽ト併セ未使用鹽ニ對スル賣渡當時ノ數量ニ相當スル殘存鹽ト看做シ第九條ニ依リ追徵金ヲ徵收スルコトニ御取扱相成度

明治四十年四月專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ヲ改正シ四月十日ヨリ之ヲ施行シタリ特別定價鹽ニ關スル改正要點ヲ舉クレハ左ノ如シ

- 一 特別定價鹽中ニ家畜用鹽ヲ加ヘ肥料選種用鹽ト同一ニ取扱フコトトシタルコト
- 二 從來各種ノ特別用途鹽ハ百斤ニ付十八錢ノ專賣收益ヲ課シタルモ外國輸出鹽ニハ毫モ課稅ナカリシ爲名ヲ輸出ニ藉リテ特別定價鹽ノ賣渡ヲ受ケ之ヲ他ニ轉用シ其ノ差額ヲ利セムトスル者アルニ依リ外國輸出鹽ノ特別定價ハ專賣益金十八錢ヲ加フルコトトシ尙漁獲物鹽藏用鹽ト同シク百斤ニ付金一圓三十錢（特別定價ト一般定價トノ差額）ノ割合ニ依リ擔

保ヲ提供セシムルコト

勅令第九號(再録) (明治四十年四月一日)

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス(抄録)

第一條 第三號ヲ左ノ如ク改ム

三 肥料、選種家畜用

第五條第一項ヲ左ノ如ク改ム

外國ニ輸出シ又ハ第一條第六號ノ用途ニ使用スル鹽ニ付テハ賣渡請求者ヲシテ百斤ニ付金一圓三十錢ノ割合ニ依リ擔保ヲ提供セシムルコトヲ得

第十八條中「漁獲物鹽藏用」ノ上ニ「外國ニ輸出シ若ハ」ヲ加フ

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中ノ追徴金ニ付特別定價ト一般定價トノ差額トアルハ總テ賣渡當時ニ於ケル各定價ノ差額ニ依ルヘキモノニシテ交付金額ノ算出方カ特別用途ニ使用ノ事實アリタル當時ニ於ケル各定價ノ差額ニ依ルヘキトハ區別アルヘキコトヲ指示シタリ

外國輸出ノ特別定價鹽ニ對シテハ規則第五條改正ノ結果擔保ヲ提供セシムルヲ得ルコトトナリタルモ右ハ總テ擔保ヲ提供セシムヘキコトニ取扱フヘキ様明治四十年五月主稅局長ヨリ通牒シタリ

明治四十一年四月鹽專賣法第十九條ヲ改正シ外國輸出鹽法不施行地移出鹽及命令ヲ以テ指定スル用途ニ使用スル鹽ノ外特ニ命令ヲ以テ定メタル場合ニ該當スルトキハ其ノ鹽ニ對シテモ特別定價ヲ以テ賣渡スコトト爲セルニ依リ特別定價賣渡及交付金下付規則ヲ改正シ明治四十一年七月ヨリ之ヲ施行シタリ

勅令第五百十二號(再録) (明治四十一年六月十五日)

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス(抄録)

第一條ノ二 鹽專賣法第十九條第一項第三號ニ依リ特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ爲スハ左ノ場合ニ限ル

一 鹽賣捌人ニ非サル者一同一萬斤以上鹽ノ賣渡ヲ請求シタルトキ

二 鹽元賣捌人カ大藏大臣ノ定ムル制限價格以內ニ於テ鹽ノ販賣ヲ爲ササルトキ

第九條 外國ニ輸出スル爲又ハ第一條ノ用途ニ使用スル爲賣渡シタル鹽ヲ外國輸出及第一條ノ用途以外ニ供スルコトヲ許可スルトキハ鹽專賣官署ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ其ノ定價ト第一條ノ二ニ依ル定價トノ差額及其ノ五分ノ一二相當スル金額ヲ追徴ス

第十六條第一項中「特別定價ヲ以テ」ヲ「外國ニ輸出スル爲又ハ第一條ノ用途ニ使用スル爲」ニ改メ「特別定價ト一般定價トノ差額及其ノ十分ノ一」ヲ「其ノ定價ト第一條ノ二ニ依ル定價トノ差額及其ノ五分ノ二」ニ改ム

第十七條中「及前條」ヲ「第十六條及第二十一條ノ二」ニ改ム

第二十一條ノ二 第十九條第二號ニ依リ交付金ノ下付ヲ受ケタル鹽藏魚類ヲ輸入シタルトキハ輸入港稅關ニ於テ其ノ輸入者ヨリ交付金ニ相當スル金額ヲ追徵ス

第二十三條ノ二 前條第三項ニ依リ變性ヲ施シタル鹽ヲ第一條第二號乃至第五號以外ノ目的ニ供セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ其ノ地所轄ノ鹽專賣官

署ニ變更ノ許可ヲ出願スヘシ

第一條第二號乃至第五號ノ用途中相互ノ變更ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ申告スヘシ

第一項ノ場合ニ於テ其ノ鹽ヲ外國輸出及第一條ノ用途以外ニ供スルコトヲ許可スルトキハ第九條ノ規定ヲ準用ス

第一項ノ場合ニ於テ許可ヲ受ケスシテ其ノ目的ヲ變更シタル者ニ付テハ第十六條ノ規定ヲ準用ス

右改正ノ結果追徵ニ關シ變更シタル概要左ノ如シ

一 特別定價鹽ヲ外國輸出及規則第一條ノ用途以外即チ一般用途ニ使用スルコトヲ許可スル場合ニ於テハ從來特別定價ト一般定價トノ差額ヲ追徵セシモ右ノ追徵額ニテハ尙他ニ轉用ノ虞アルヲ以テ賣渡當時ノ定價ト規則第一條ノ二ニ依ル定價トノ差額ノ外其ノ五分ノ

一ニ相當スル金額ヲ増徵スルコトニ改メタルコト

二 許可ヲ受ケスシテ特別定價鹽ノ目的ヲ變更シ又ハ輸出申告書記載以外ノ内國沿岸ニ寄港シタルモノ若ハ一定ノ期間内ニ輸出又ハ魚類ノ鹽藏使用ニ關スル證明書ヲ提出セサルモノニ對スル追徵金ハ從來特別定價ト一般定價トノ差額及其ノ十分ノ一ニ相當スル金額ナリシモ右追徵額ニテハ前記同様他ニ轉用セラルル危險アリ殊ニ許可ヲ受ケスシテ目的ヲ變更スルモノナルカ故ニ斯ル不正行爲ヲ豫防スル必要上其ノ追徵金額ヲ増加シ賣渡當時ノ定價ト規則第一條ノ二ニ依ル定價トノ差額及其ノ五分ノ二ニ相當スル金額ニ改メタルコト

三 外國ニ輸出シタル爲既ニ交付金ノ下付ヲ受ケタル鹽藏魚類即チ鯧魚ヲ輸入シタルトキハ輸入港稅關ニ於テ其ノ輸入者ヨリ交付金ニ相當スル金額ヲ追徵スルコトト爲シタルコト

四 鹽酸曹達、硫酸曹達、晒粉、石鹼製造用、獸皮保存用、鑛業用ニ供スル一般定價鹽ニシテ交付金ヲ受クル爲變性ヲ施シタル鹽ハ殆ト特別定價鹽ト同様ノ性質ヲ有シ取締上危險ナルヲ以テ特別定價鹽ノ例ニ倣ヒ左ノ如ク取扱フコトニシタルコト

(イ) 一般定價ノ變性鹽ヲ外國輸出及規則第一條ノ用途以外(一般用途ニ供スルコトヲ許可スルトキハ規則第九條ノ規定ヲ準用シ追徵金ヲ徵スルコト

(ロ) 一般定價ノ變性鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ其ノ目的ヲ變更シタルモノニ付テハ規則第十六條ノ規定ヲ準用シテ追徵金ヲ徵スルコト

特別定價賣渡鹽ヲ一般定價ニ變更シタル者ヨリ徵スヘキ追徵金ハ延納許可差支ナキヤ否ヤ明治四十二年五月撫養專賣支局長ノ伺ニ對シ鹽追徵金ニハ延納ヲ許ササル旨回示シタリ

特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ノ目的變更ノ許可出願及差金追徵ニ對スル義務ハ總テ當初鹽ノ賣渡ヲ受ケタル鹽元賣捌人ニ負擔セシムヘキコトニ明治四十二年九月鹽務局長ニ通牒シタリ
明治四十二年九月專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ヲ改正シ追徵ニ關シ左記事項ヲ改定シタリ

一 特別定價鹽ノ目的變更其ノ他ノ場合ニ於テ徵收スヘキ追徵金ハ從來特別定價ト規則第一條ノ二ニ依リ賣渡ス定價トノ差額ヲ標準トシタリシモ特別定價ト鹽專賣法第十八條ニ依リ賣渡ス定價(政府ヨリ鹽元賣捌人ニ賣渡ス價格)トノ差額ヲ標準トスルコトニ改メラレタル結果追徵金ノ割合ヲ減少シタルコト

尙アルカリ工業(鹽酸、曹達、硫酸曹達、晒粉製造)ニ使用スル鹽ノ特別定價ハ其ノ他ノ特別用途鹽ノ價格ニ比シ低廉ナルカ故ニ之ヲ外國輸出若ハ其ノ他ノ特別用途ニ供シタルトキハ各特別定價ノ差額ヲ追徵スルコトトシ其ノ許可ヲ受ケタル場合ノ追徵ハ規則第九條第二項ニ許可

ヲ受ケサル場合ノ追徴ハ第十六條第三項ニ規定シタルコト

一定ノ目的ニ供スル爲特別定價ヲ以テ賣渡シタル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ其ノ他ノ特別用途

ニ供シタルトキ及鹽賣渡請求書又ハ輸出申告書ニ記載シタル寄港地以外ノ内國沿岸ニ寄港

シタル場合等ニ於テハ追徴金ヲ徵收スルコトニ新ニ規則第十六條ノ二ヲ追加シ右ノ追徴ニ

關シテハ國稅徵收法規ヲ準用スルコトトシタルコト

勅令第二百二十五號(再録)(明治四十二年九月三十日)

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス(再録)

第九條 外國ニ輸出スル爲又ハ第一條ノ用途ニ使用スル爲賣渡シタル鹽ヲ外國輸出及第一條ノ用途以外ニ供シ又ハ供スル者ニ讓渡スルコトヲ許可スルト

キハ鹽專賣官署ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ其ノ定價ト鹽專賣法第十八條ニ依リ賣渡ス定價トノ差額及其ノ五分ノ一ニ相當スル金額ヲ追徴ス

第一條第一號ノ用途ニ使用スル爲賣渡シタル鹽ヲ外國輸出又ハ第一條第二號乃至第六號ノ用途ニ供スルコトヲ許可スルトキハ鹽專賣官署ハ賣渡當時ノ

數量ニ依リ各特別定價ノ差額ニ相當スル金額ヲ追徴ス

第十六條 外國ニ輸出スル爲又ハ第一條ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ鹽專賣官署ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ其

ノ定價ト鹽專賣法第十八條ニ依リ賣渡ス定價トノ差額及其ノ五分ノ二ニ相當スル金額ヲ追徴ス

一 許可ヲ受ケスシテ其ノ鹽ヲ外國輸出及第一條ノ用途以外ニ供シ又ハ供スル者ニ讓渡シタルトキ

二 第十四條又ハ第十五條ニ依リ提出スヘキ書類ヲ其ノ期間内ニ提出セザルトキ

外國ニ輸出スル爲又ハ第一條第六號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル者ノ其ノ目的ニ供シタル鹽ノ數量カ賣渡シタル鹽ノ數量ニ對シ不足シタル場合

ニ於テ正當ノ事由ナシト認メタルトキハ鹽專賣官署ハ其ノ不足額ニ對シ前項ノ金額ヲ追徴スルコトヲ得但シ第十五條第二項ニ依リ承認ヲ受ケタル未使

用鹽ハ其ノ不足額ニ算入セス

第一條第一號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ外國輸出又ハ第一條第二號乃至第六號ノ用途ニ供シタルトキハ各特別定價ノ差

額及其ノ五分ノ一ニ相當スル金額ヲ追徴ス

第十六條ノ二 外國ニ輸出スル爲又ハ第一條ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ鹽專賣官署ハ賣渡當時ノ數量ニ依

リ其ノ定價ト鹽專賣法第十八條ニ依リ賣渡ス定價トノ差額ニ相當スル金額ヲ追徴ス

一 外國ニ輸出スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ第一條ノ用途ニ供シタルトキ

二 第一條第二號乃至第五號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ外國輸出又ハ第一條第六號ノ用途ニ供シタルトキ

三 第一條第六號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ外國輸出又ハ第一條第一號乃至第五號ノ用途ニ供シタルトキ

四 外國ニ輸出スル爲又ハ第一條第六號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ外國輸出又ハ第一條ノ用途ニ供スル者ニ讓渡シタル

トキ

五 申告ヲ爲サスシテ第十條ニ掲ケタル事項ヲ變更シタルトキ

第十章 交付金下付及追徴

六 第四條ノ賣渡請求書及第十一條ノ輸出申告書ニ記載シタル寄港地以外ノ内國沿岸ニ寄港シタルトキ但シ海難其ノ他已ムヲ得サル事故アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十七條中第十六條ノ下ニ第十六條ノ二ヲ加フ

第二十三條ノ二 前條第三項ニ依リ變性ヲ施シタル鹽ヲ第一條第一號乃至第五號以外ノ目的ニ、第一條第一號ノ用途ニ使用スヘキ鹽ヲ第一條第二號乃至

第五號ノ用途ニ供シ又ハ供スル者ニ讓渡セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ其ノ地所轄鹽專賣官署ニ變更ノ許可ヲ出願スヘシ

第一條第二號乃至第五號ノ用途中相互ノ變更ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ申告スヘシ

第一項ノ場合ニ於テ其ノ鹽ヲ外國輸出及第一條ノ用途以外ニ供スルコトヲ許可スルトキハ第九條ノ規定ヲ準用ス

第一項ノ場合ニ於テ許可ヲ受ケテ其ノ目的ヲ變更シタル者ニ付テハ第十六條及第十六條ノ二ノ規定ヲ準用ス

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第二十三條第三項ニ依リ變性ヲ施シタル鹽ニ對シ第二十
三條ノ二ニ依リ目的ヲ變更セムトスル場合ニ於テハ交付金下付前ト雖其ノ許可ノ出願ヲ要スル
ハ勿論第二十三條ノ二第三項第四項ノ追徴ハ既ニ交付金下付シタルト否トニ關セス之ヲ徵收
スヘク其ノ追徴金ノ算定上鹽ノ產地ハ其ノ鹽ノ買受先タル鹽賣捌人ニ付調査スル等其ノ他ノ方
法ヲ以テ之ヲ知ルコトトシ又其ノ賣渡ハ假令鹽專賣法第十九條第一項第三號ニ依リタルモノト
雖差額ノ算定ハ總テ同法第十八條ニ依リ賣渡ス價格ヲ標準トスヘキコトニ明治四十二年十一月
通牒シタリ

特別定價鹽ヲ轉賣シタル場合ニ於テ轉買者カ任意ニ用途變更ヲ爲シタルトキノ追徴義務者ハ當
該轉買者ナル旨明治四十三年十月阪出專賣支局長ノ照會ニ對シ回示シタリ

明治四十四年三月專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ヲ改正シ特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタ
ル鹽ヲ災害ニ因リ滅失シタル場合ニ於テハ其ノ事實ヲ證明スヘキ書類アルニ非サレハ規則第十
六條ノ追徴金ヲ徵セサルコト及特別定價鹽ヲ數人ニ轉賣シタル場合ニ於テ直接政府ヨリ賣渡ヲ
受ケタル者ニ非サル轉得者ト雖任意用途變更ヲ爲シタルトキハ轉得者ヨリ追徴スルコトニ其ノ
取扱方ヲ明ニシタリ

北海道擇捉島以北ノ千島列島ヲ鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ指定セラレ度旨擇捉島水産組合及千島興業株式會社等漁業者ヨリ屢請願アリ同島ニ於ケル漁業獎勵上願意ヲ承認スルノ必要ナルヲ認メ明治四十四年四月北海道廳管下得撫郡新知郡占守郡紗那郡振別郡擇捉郡藥取郡ヲ鹽專賣法不施行地ニ指定セラレタル爲爾後同地方ニ移出シ漁業用ニ供スル鹽ニ付テハ移出鹽ノ手續ニ依リ特別定價賣渡又ハ交付金ノ下付ヲ爲スコトヲ得ルニ至レリ

寄港地ノ變更ニ關スル取扱方ニ付明治四十四年五月左ノ如ク通牒シタリ

專賣局收納部長通牒甲第一〇六九號 (明治四十四年五月二日)

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第四條但書ノ鹽賣渡請求書同第二十四條、第二十五條ニ依ル鹽檢定申請書、鹽專賣法施行地外移出鹽檢査手續第一條ノ移出申告書ニハ内國寄港地名ヲ記載スルコトニ相成居候處其ノ變更ニ付テハ可成認容セサル精神ニハ有之候ヘトモ絕對ニ之ヲ認メサルニ於テハ當業者ノ不便可有之ニ付若變更申告アリタル場合ハ變更スヘキ寄港地ニ專賣官吏又ハ取締上連絡ヲ保テ警察官署等アリテ之ヲ變更スルモ何等支障ナキト認ムルモノニ對シテハ出港ノ前後ヲ問ハス認容相成可然 右依命

明治四十五年七月專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ヲ改正シ鹽百斤當交付金ヲ五錢低減シテ一圓三十錢トシ醬油一石當交付金ヲ三錢低減シテ六十三錢トシタリ右ハ同年七月一日ヨリ鹽賠償價格ヲ引上ケタルモ鹽賣渡價格ハ專賣收益率ヲ低減シ從前ノ通据置キタル結果交付金額ニ異動ヲ來シタルモノニシテ追徵ニ付テハ從前ト異ナルナシ

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ノ特別定價鹽用途變更ニ際シ其ノ鹽ノ讓渡又ハ供用ノ事實カ數人ニ關聯スル場合ニ於ケル追徵義務者及追徵金ノ徵收方ニ付大正元年十月局議決定ノ上左ノ如ク通牒シタリ

專賣局收納部部長通牒甲第三七二號 (大正元年十月八日)

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ノ追徵金徵收ニ關シ其ノ鹽ノ讓渡又ハ供用ノ事實カ數人ニ關聯スル場合ニ於テハ其ノ各當事者ハ追徵金全部ニ對スル義務者ナルヲ以テ其ノ各自ニ就キ讓渡又ハ供用ノ事實ヲ調査シ先ツ其ノ一人ニ對シ追徵手續ヲ爲シ若完納ニ至ラサルトキハ更ニ其ノ他ノ者ニ對シ其ノ殘額ヲ徵收シ要追徵金額ニ達スル迄順次數人ヨリ追徵スヘキ義ト了知相成度尤右讓渡又ハ供用ノ事實ハ各當事者ノ故意又ハ認識ノ狀態等ヲ調査シ適當ニ其ノ責任ノ有無ヲ決定スヘキハ勿論之義ニ有之候 右依命

第十章 交付金下付及追徵

臺灣鹽、關東州鹽ノ交付金増加其ノ他ノ目的ノ爲ニ大正元年十一月專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ヲ改正シタリ追徴ニ關スル改正要點ヲ舉クレハ左ノ如シ

一 外國ニ輸出スル鹽ノ特別定價ニ付テハ從來多少ノ專賣益金ヲ收得セシモ輸出貿易獎勵ノ爲鹽賠償價格其ノ儘ニテ特別定價賣ヲナシ他ノ特別定價鹽ノ如ク毫モ專賣益金ヲ收得セサルコトトナリタルニ依リ外國ニ輸出スル爲賣渡シタル内地鹽ヲ規則第一條ノ特別用途ニ供スルコトヲ許可スルトキハ賣渡當時ノ數量ニ依リ各特別定價ノ差額ニ相當スル金額ヲ追徴スルコトトシタルコト

二 交付金下付請求上内地鹽以外ノ鹽ニ付テハ交付金額ヲ増加スヘキヲ以テ其ノ證明書類ノ提出ヲ必要トシ輸出鹽藏魚類等ノ讓受ニ關シテモ亦其ノ證明書類ノ提出ヲ必要トシ其ノ他漁獲物ノ鹽藏ニ供スル檢定鹽ノ讓渡ニ付テハ其ノ申告ヲ必要トス然ルニ若虛偽ノ書類ヲ提出シ又ハ虛偽ノ申告ヲ爲シ交付金ノ下付ヲ受ケタルモノアリトセハ國庫ノ損失ヲ來スヲ以テ其ノ交付金額及其ノ五分ノ二ニ相當スル金額ヲ追徴スルコトニ改メタルコト

勅令第四十二號(再録)(大正元年十一月五日)

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス(抄録)

第九條 外國ニ輸出スル爲賣渡シタル内地鹽ヲ第一條ノ用途ニ、第一條第一號ノ用途ニ使用スル爲賣渡シタル内地鹽以外ノ鹽ヲ外國輸出又ハ第一條第二號乃至第六號ノ用途ニ供スルコトヲ許可スルトキハ鹽專賣官署ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ各特別定價ノ差額ニ相當スル金額ヲ追徴ス

第十七條中「及第二十一條ノ二」ヲ「第二十一條ノ二及第二十七條ニ改ム」

第二十七條ニ左ノ一項ヲ加フ

第二十條第四項、第六項若ハ第二十二條ノ場合ニ於テ虛偽ノ書類ヲ提出シ又ハ第一項第五號ノ場合ニ於テ虛偽ノ申告ヲ爲シ交付金ノ下付ヲ受ケタルトキハ其ノ交付金額及其ノ五分ノ二ニ相當スル金額ヲ追徴ス

鹽價低減ニ由ル專賣收益率ノ低減ニ伴ヒ鹽交付金額ヲ減少スルノ要アルト共ニ輸出貿易獎勵ノ爲輸出乾鰯、乾鮑ニ對シ交付金ヲ下付スルノ目的ヲ以テ大正二年十月專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ヲ改正シ追徴ニ關シテハ左ノ事項ヲ改定シタリ

一 從來外國ニ輸出スル爲賣渡ス内地鹽ノ價格ハ他ノ特別用途鹽ノ價格ニ比シ低價ナリシヲ以テ之ニ轉用シタルトキハ追徴ノ要アリシモ今回特別用途ニ供スル内地鹽ハ輸出タルト其ノ他ノ特別用途タルトヲ問ハス渾テ鹽原價ニテ低價賣渡スコトトナリタル爲追徴ノ要ナキニ至リタルモ外國ニ輸出スル爲特別定價ヲ以テ賣渡ス臺灣鹽關東州鹽ノ價格ハ「アルカリ」工業用ヲ除クノ外他ノ特別用途鹽ニ比シ尙廉價ナルヲ以テ外國ニ輸出スル爲賣渡シタル臺灣鹽又ハ關東州鹽ヲ第一條第二號乃至第六號ノ用途ニ、第一條第一號ノ用途ニ使用スル爲賣渡シタル臺灣鹽又ハ關東州鹽ヲ外國輸出又ハ第一條第二號乃至第六號ノ用途ニ供スルコトヲ許可スルトキハ鹽專賣官署ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ各特別定價ノ差額ニ相當スル金額ヲ追徴スルコトトナシタルコト

二 外國ニ輸出スル爲特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ規則第一條ノ用途ニ供シタルモノニ付テハ規則第十六條ノ二ニ於テ特別定價ト一般定價トノ差額ニ相當スル金額ヲ追徴セラルルニ拘ラス規則第一條第一號ノ「アルカリ」工業用ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ外國輸出又ハ第一條第二號乃至第六號ノ用途ニ供シタルモノニ付テハ規則第十六條第三項ニ於テ僅ニ各特別定價ノ差額及其ノ五分ノ一ニ相當スル金額ヲ追徴セラルルニ過キスシテ權衡ヲ得サルニ依リ「アルカリ」工業用鹽ノ許可ヲ受ケスシテ用途ヲ變更シタルモノニ對スル追徴規定ヲ改正シ外國輸出鹽ノ追徴ト同一ニシタルコト

勅令第二百九十四號(再録)(大正二年十月十三日)
專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス(抄録)
第九條第二項ヲ左ノ如ク改ム

外國ニ輸出スル爲メ賣渡シタル臺灣鹽又ハ關東州鹽ヲ第一條第二號乃至第六號ノ用途ニ、第一條第一號ノ用途ニ使用スル爲賣渡シタル臺灣鹽又ハ關東州鹽ヲ外國輸出又ハ第一條第二號乃至第六號ノ用途ニ供スルコトヲ許可スルトキハ鹽專賣官署ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ各特別定價ノ差額ニ相當スル金

第十章 交付金下付及追徴

額ヲ追徴ス

第十六條第三項ヲ削ル

第十六條ノ二中第一號ノ次ニ左ノ一號ヲ加ヘ以下順次繰下ク

二 第一條第一號ノ用途ニ使用スル爲メ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ外國輸出又ハ第一條第二號乃至第六號ノ用途ニ供シタルトキ

第二十一條ノ二中魚類「魚介類」ニ改ム

特別定價鹽ヲ轉賣シ用途ヲ變更シタル事實カニ專賣官署以上ニ跨ルトキ右ニ對スル追徴金ノ決定ハ何レノ專賣官署ニ於テスヘキヤ大正二年十一月名古屋

專賣支局長ノ伺ニ對シ該鹽ヲ賣渡シタル專賣官署ニ於テ決定スヘキ旨回示シタリ

鹽代金追徴額表

區分	明治三十八年度	同三十九年度	同四十年度	同四十一年度	同四十二年度	同四十三年度	同四十四年度	大正元年度	大正二年度
輸 出	七〇、〇三二、四六四斤	一〇〇、〇二七、八五九斤	一三三、二九四斤	五〇五、三四七斤	一九二、〇〇〇斤	二、九九五斤	八、〇〇〇斤	一四四斤	一六、〇〇〇斤
移 出	一〇一、三九二斤	一三三、二九四斤	一三三、二九四斤	七、四八七斤	二、九九五斤	二、九九五斤	一四四斤	一四四斤	三〇、〇〇〇斤
鹽酸、曹達、硫酸曹達 晒粉、石鹼製造用	一、一四一、六〇〇斤	三、〇二一、六九〇斤	四一、二九六斤	三六二、四八〇斤	五、〇〇〇、九六〇斤	七六、〇九五斤	一〇、六一五斤	二二五斤	六、七二〇斤
肥料選擇及家畜用	一六、四六〇斤	一、七八一斤	一、六三八斤	六、一八一斤	一、〇四〇斤	一、〇四〇斤	四、二七一斤	三、七三三斤	二、三二七斤
獸皮保存用	一八、六四六斤	一、七八一斤	一、六三八斤	六、一八一斤	一、〇四〇斤	一、〇四〇斤	四、二七一斤	三、七三三斤	二、三二七斤
礦 業 用	一八、六四六斤	一、七八一斤	一、六三八斤	六、一八一斤	一、〇四〇斤	一、〇四〇斤	四、二七一斤	三、七三三斤	二、三二七斤
漁獲物鹽藏用	七〇〇、五六五斤	一、八二六、九九九斤	一、八二六、九九九斤	六〇三、三八四斤	一、三三七、二三五斤	六四〇、八〇〇斤	九、九九七斤	九、九九七斤	六、五七八斤
醬油釀造用	二、四四一、六四一斤	六五〇、一六三斤	七、一七六斤	一、一七六斤	五三三、〇七斤	二、二八四斤	三六、八〇五斤	四八二斤	八五斤
溜製造原料味噌	一九、八七七、九六七斤	二四、〇三〇、一五三斤	四〇、八五五斤	三、八四七、五六八斤	三、一九九、三八四斤	一、三三、三八二斤	五九、六九一斤	五〇、五三三斤	四〇、一六七斤
合 計	一九、八七七、九六七斤	二四、〇三〇、一五三斤	四〇、八五五斤	三、八四七、五六八斤	三、一九九、三八四斤	一、三三、三八二斤	五九、六九一斤	五〇、五三三斤	四〇、一六七斤
(味噌)	一九、八七七、九六七斤	二四、〇三〇、一五三斤	四〇、八五五斤	三、八四七、五六八斤	三、一九九、三八四斤	一、三三、三八二斤	五九、六九一斤	五〇、五三三斤	四〇、一六七斤
(鹽)	一、一四一、六〇〇斤	三、〇二一、六九〇斤	四一、二九六斤	三六二、四八〇斤	五、〇〇〇、九六〇斤	七六、〇九五斤	一〇、六一五斤	二二五斤	六、七二〇斤